

多様な樹脂をナノファイバー化する独自紡糸技術を開発

株式会社 ROKI (本社:静岡県浜松市 代表取締役社長 島田貴也)は、従来技術と異なる製法で多様な樹脂をナノファイバー化する技術を開発しました。

本技術を用いることで多様な樹脂の紡糸や、綿状のナノファイバー不織布作製および任意の繊維径設定が可能です。今後、用途に応じた最適な機能性不織布として製品展開していきます。

【独自紡糸技術の特徴】

- ✓ 任意の繊維径で紡糸
- ✓ 多様な樹脂による不織布
- ✓ 綿状のかさ高いナノファイバー不織布
- ✓ 機能性を付与した樹脂による紡糸

【技術活用例】

① ポリイミド不織布

ポリイミドの優れた耐熱性・低誘電・化学安定性に加えて、柔軟性・透気度・含浸性等の特性付与

- ✓ 二次電池(LFP-SiO)向けセパレータの充電特性向上 (産業技術総合研究所と共同研究中)
- ✓ 高周波基板向け基材の柔軟性・耐熱性・放熱性向上
- ✓ 高温プロセスでのフィルトレーションを実現

② 水溶性ポリマー (慶應義塾大学と共同研究中)

水溶性ポリマーの膜の強度・耐久性の向上により、幅広いアプリケーションに適用可能

株式会社 ROKI 新事業本部

〒431-3314 静岡県 浜松市 天竜区 二俣町二俣 2396

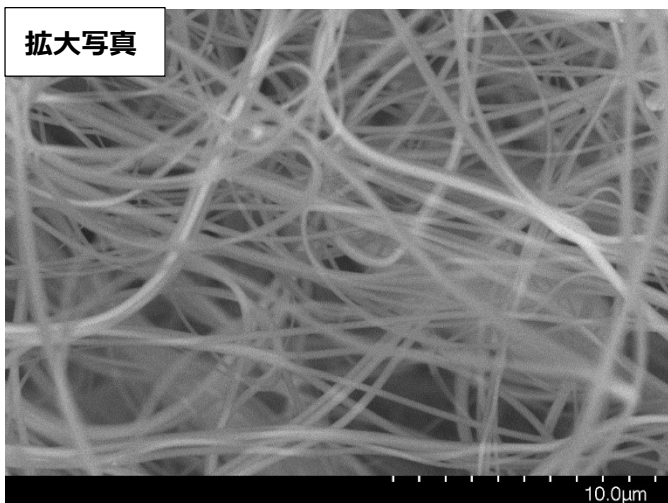
お問い合わせ窓口 : contact@roki-jp.com

本記事はホームページお知らせ欄にも掲載しています : <https://www.roki-jp.com>

添付写真： 本技術を用いた繊維シートの場合

① ポリイミド不織布（繊維径 200nm）

拡大写真



ロール状サンプル

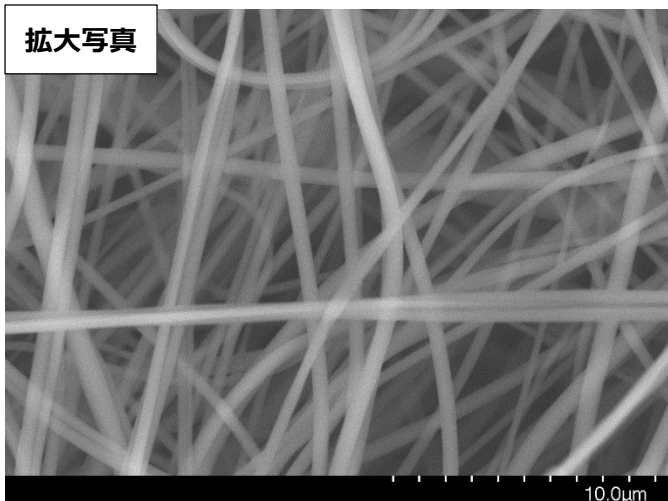


綿状のポリイミド



② 水溶性ポリマー（繊維径 500nm）

拡大写真



シート状サンプル

